

2020年5月7日
安全技術応用研究会会長 福田 隆文

安全技術応用研究会 会員 各位

研究会月例会の休会について

今年2月以降の日本における新型コロナウイルス禍で、社会活動の多くの面で当たり前だったことができなくなっています。皆様の会社等でもいろいろな制約の中で活動されていることと思います。人員を減らしての作業等の不慣れな状況の中で、事故が発生しないよう対策をされていることと思います。

制約は帰省や買い物など私的な活動においても同様で、毎日不便なことが多いと思います。

本会も3、4、5月と東京・関西月例会が中止となっています。6月月例会は実施できることを願っていますが、状況は予断を許しません。

4月9日に皆様にメッセージをお送りしましたところ、web等を利用できないかと提案いただきました。いくつか解決しなければならない問題点があり、すぐに実施とはなりません、中期的な視点で、企画運営委員会で検討していただいています。

問題点の例

- Zoom, Skype, Teams など(以下、web ミーティングと呼ぶ)が多く使われているが、どれであっても皆様全員が利用可とならない
- web ミーティングを使うことによる内容漏洩や個人情報管理のセキュリティー問題が発生する場合がある
- 社内の LAN で web ミーティングのシステムとつなぐことが、社内規則上できない法人会員もある
- 金曜日開催の月例会を web ミーティングで開催することは、法人会員の場合、勤務時間内となり、会議室や施設を使用しての参加となる
- web ミーティング参加者と会場参加者との議論が、従来方法とは変わってくる費用が発生する

しかし、今後急速に打合せ、集会への web システムの利用が進むことは間違いなく、本会も委員会での利用から始めてみることも一つと考えます。そこで、試行を兼ね、5月29日金曜日12:15~12:45に Zoom による私の話題提供をお送りします。詳しくは別途ご案内いたしますが、お昼休みの時間帯ですので、聞いていただければ幸いです。この内容は、会員専用ページにも掲載いたします。

また、安全確認型について議論を深めようという提案がありました。私も、「安全

確認型とは「我々の立脚点」(2018年1月19日)と出した話題提供をさせていただいています。本会の規約にも、目的として、第4条に、

- 安全技術及び応用技術の研究・開発並びに普及、規格の提案
- 安全確認型の論理に基づいた安全方策の研究・開発及び普及役

が掲げられています。本会の経済的な状況から、従前の委員会とは異なる形式でもよいのではないか、と提案いただいています。これも、企画運営委員会で検討願っています。

現状、新型コロナウイルスに関する状況は厳しく、いつからどのくらい活動が以前の方向に戻せるのかは、わかりません。

専門家の方々も必ずしも見通せていない状況だと思います。しかし、いずれは戻るはずで、また、私たちの目的は、技術的基盤の上に立った安全の構築で、それを会員の皆様の会社で、さらには社会に普及させることです。

この目的を忘れず、数ヶ月以降に何を再開・継続するか、何を新たに行うかを考えたいと思います。

安全技術応用研究会 会長

福田 隆文

(長岡技術科学大学)